

# 加東市下水道ビジョン

【2019(平成31)年度～2028(平成40)年度】  
(概要版)



2019(平成31)年3月

加東市



# 1. 策定の目的と計画の位置付け

「加東市下水道ビジョン（2019（平成31）年度～2028（平成40）年度）」は、本市下水道事業の目指すべき将来像を明示するとともに、その実現に向けて2019（平成31）年度から2028（平成40）年度までの10年間に取り組む方策及び目標を示した基本計画です。

## ●策定の目的

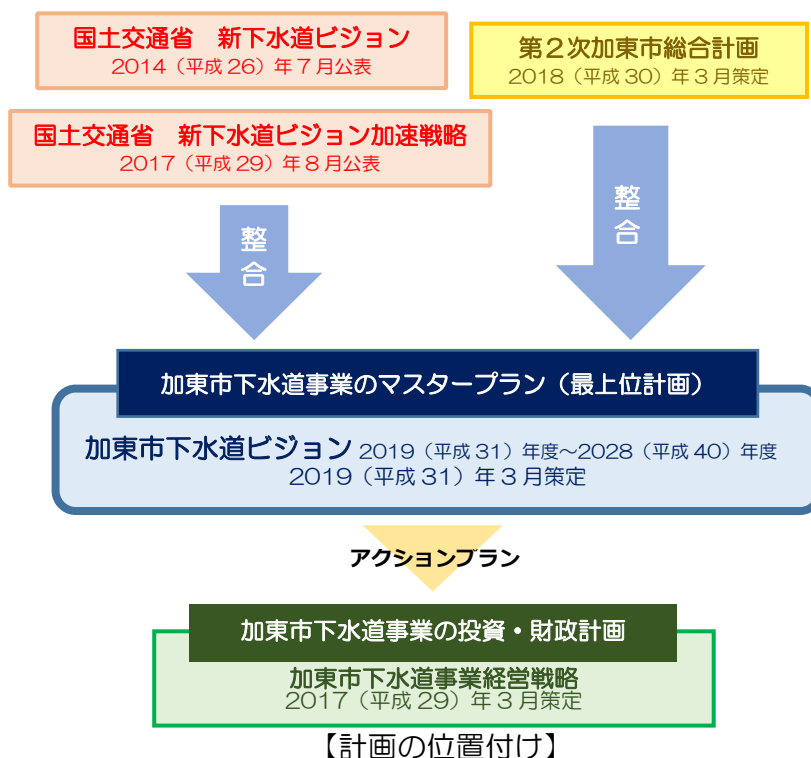
汚水処理事業は、今後の人口減少などで使用料収入の減少が予測されることに加えて、施設の老朽化や耐震化対策に多額の投資が必要となります。また、近年増大している局地的集中豪雨等に適時対応していく必要があり、経営環境が厳しさを増していく中で、事業の効率化や収益確保などによる経営の健全化に、より一層取り組まなければなりません。

そのため、汚水処理事業の効率的な整備と管理、安定的な推進を図るために、『持続』と『リスクの抑制』を将来像として定め、その実現に向けて取り組むべき施策を明確化し、実行することを目的として、「加東市下水道ビジョン（2019（平成31）年度～2028（平成40）年度）」を策定しました。

## ●計画の位置付け

『加東市下水道ビジョン』は、上位計画である国土交通省「新下水道ビジョン」における基本理念などを踏まえ、さらに、本市の最上位計画である「第2次加東市総合計画（2018（平成30）年3月策定）」との整合を図った本市下水道事業におけるマスタープラン（最上位計画）と位置付けるものです。

また、計画の取組方針は、本ビジョンで位置付ける施策に対応する実行計画（投資・財政計画）である「加東市下水道事業経営戦略（2017（平成29）年3月策定）」で設定した財政面での事業運営の目標や施策の指針となるものです。



## 2. 将来像の設定

本ビジョンの目指すべき将来像として、経営の「持続」性を確保しつつ、浸水被害などの「リスクの抑制」を図り、下水道事業を「未来につなぐ」ことによって得られる快適なくらしときれいな川をいつまでも残すことが大切な使命であると認識し、加東市下水道ビジョン2019（平成31）年度～2028（平成40）年度の基本理念を“未来につなぐ 快適なくらしと鮎躍る川”とします。そこで、本ビジョンの策定に当たっては、「第2次加東市総合計画」で定められたまちづくりの基本施策との整合を図り、主要政策課題である【持続】と【リスクの抑制】に準じて、施策目標を定めました。

加東市下水道ビジョン2019（平成31）年度～2028（平成40）年度 基本理念

### 未来につなぐ 快適なくらしと鮎躍る川

加東市下水道ビジョン2019（平成31）年度～2028（平成40）年度 施策目標

#### I 持続

公共用水域の水質保全

ヒト・モノ・カネの持続可能な一体管理  
（アセットマネジメント）の確立

住民理解の促進と存在感の向上

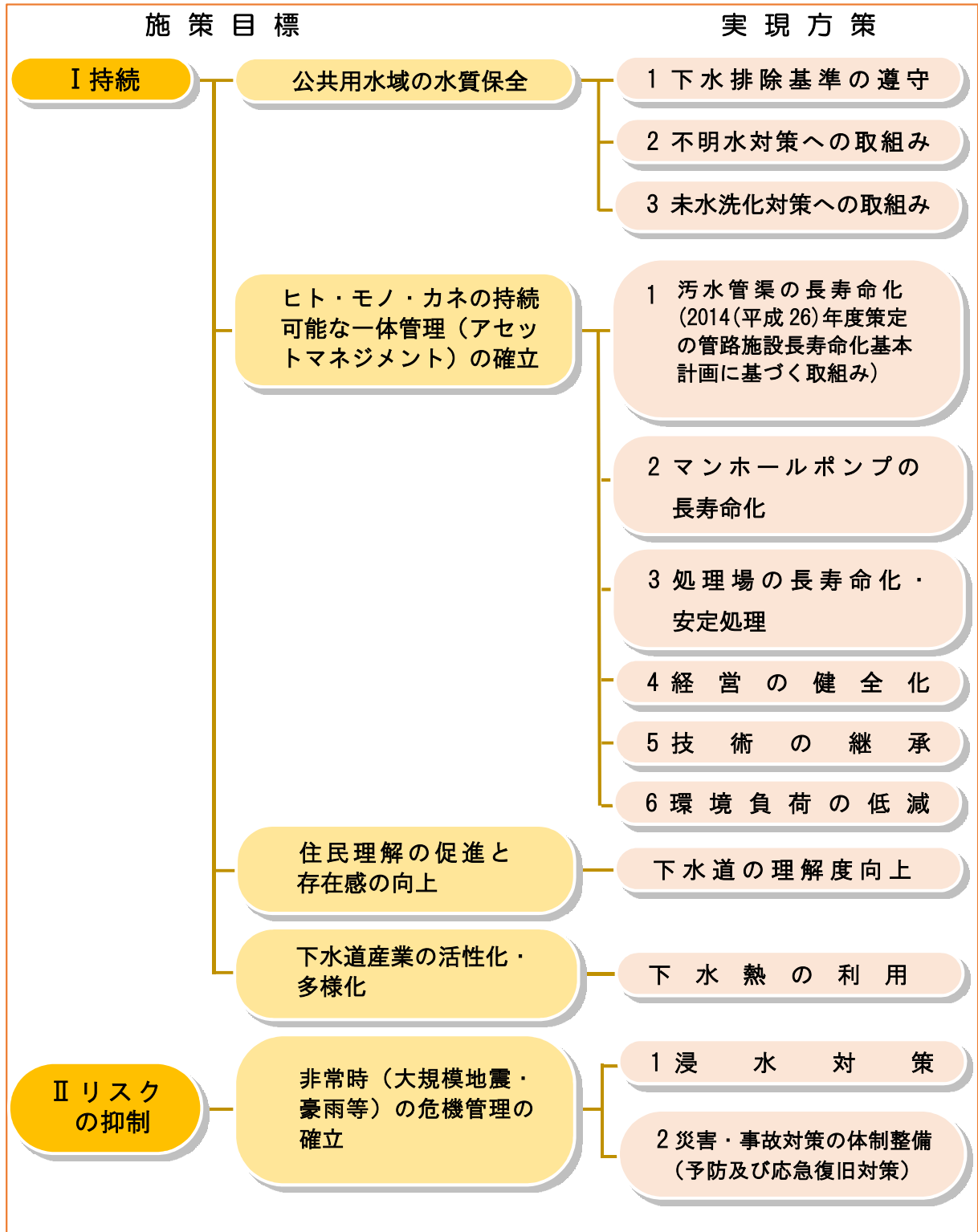
下水道産業の活性化・多様化

#### II リスク の抑制

非常時（大規模地震・豪雨等）の  
危機管理の確立

### 3. 目標実現のための方策

基本理念のもと掲げた2つの柱となる施策目標について、それぞれ計画的に事業運営に反映させるための実現方策を設定しました。





●実施計画期間の設定

前期：2019（平成 31）年度～2021（平成 33）年度

中期：2022（平成 34）年度～2025（平成 37）年度

後期：2026（平成 38）年度～2028（平成 40）年度

施策 目標	実現方策	方向性	具体的施策	前期	中期	後期
<b>1. 持続</b>						
公共用水域の水質保全	下水排除基準の遵守	■適正な点検・維持管理	■専門の民間企業に処理場の運営管理委託を継続し、適正な水質管理を実施			
	不明水対策への取組み	■不明水対策の継続実施	■不明水調査の結果を踏まえ、市民（受益者）との協力を得ながら、管渠更生等の改築・更新を推進			
	未水洗化対策への取組み	■水洗化率の向上	■生活排水対策が自然環境に与える好影響など広報等による住民の意識啓発に取り組むとともに、未接続の一般住宅や事業所の個別訪問による下水道への接続指導を継続実施			
ヒト・モノ・カネの持続可能な一体管理（アセットマネジメント）の確立	汚水管渠の長寿命化 2014（平成 26）年度策定の管路施設長寿命化基本計画に基づく取組み	■アセットマネジメントに基づく下水道に特化した資産管理の実施	■単純更新延長の事業費を示し、管渠劣化予測からの改築更新事業量の把握と改築更新事業量低減のための管路施設長寿命化を推進  ■重要路線下の埋設管と機能停止した場合の影響度の高い管路抽出のための TV カメラ調査と新たな点検・調査計画の立案及び実施  ■点検調査結果などの情報を活用し、アセットマネジメント手法を用いて計画の見直しを図るとともに、PDCAの実践による継続的な改善・向上に努める			
	マンホールポンプの長寿命化	■長寿命化計画に基づく改築更新	■長寿命化計画に基づき機械及び電気設備の機器更新を 2020（平成 32）年度に完了  ■アセットマネジメント手法を用いた更新計画を策定し、資産の管理方法を定め、改築更新事業量を平準化			

施策 目標	実現方策	方向性	具体的施策	前期	中期	後期
<b>1. 持続</b>						
ヒト・モノ・カネの持続可能な一体管理（アセットマネジメント）の確立	処理場の長寿命化・安定処理	■せせらぎ東条の長寿命化計画を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東条処理区の処理場「せせらぎ東条」の長寿命化計画に基づく機械及び電気設備の機器更新を2019(平成31)年度に完了</li> <li>■アセットマネジメント手法を用いて、施設の管理方法を定め、効率的・効果的な点検・調査を実施</li> </ul>			
		■処理場施設の統廃合による事業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業集落排水等の処理場施設を段階的に公共下水道へ接続し、事業効率化を推進 (東条地域の農業集落排水等の処理場施設は、せせらぎ東条への接続) (社地域の農業集落排水等の処理場施設は、加古川上流流域下水道への接続)</li> </ul>			
	経営の健全化	■適切な投資計画による事業運営と投資費用の平準化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■経営戦略の実行計画（投資・財源・投資以外の経費）の取組みから経営健全化と市民サービス向上を推進</li> </ul> <p>※アセットマネジメントに基づく下水道に特化した資産管理の手法を用いて更新費用を平準化し、施設の長寿命化によるライフサイクルコスト（継続的な更新費用）縮減の方策立案</p>			
		■適正な使用料体系を定期的に検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>■今後の事業計画の進捗や水需要の動向を踏まえ、適正な使用料体系を2020(平成32)年度を初年度とし、以後4年ごとに検討</li> </ul>			
	技術の継承	■外部からの派遣専門職員の活用と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■外部からの専門職員の派遣を含めた技術者の確保と技術の継承</li> <li>■研修会等への参加の継続などによる職員個々のスキルアップ</li> </ul>			
	環境負荷の低減	■施設統廃合による地球温暖化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設の統廃合によるCO<sub>2</sub>削減</li> </ul>			

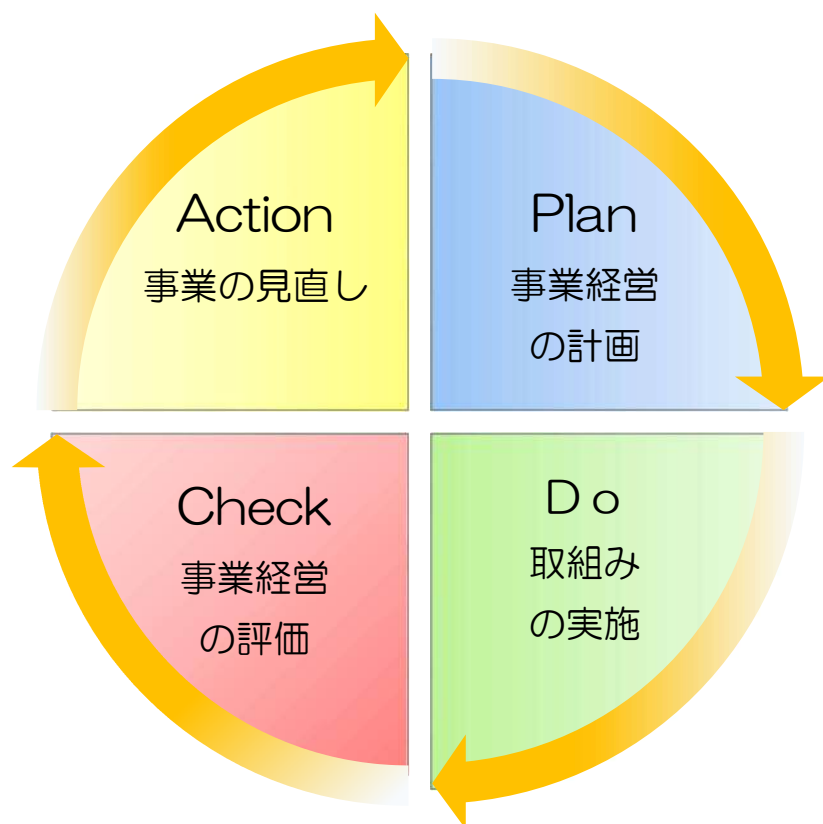
施策目標	実現方策	方向性	具体的施策	前期	中期	後期
<b>1. 持続</b>						
住民理解の促進と存在感の向上	下水道の理解度向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>■啓発活動及び情報発信の継続による住民理解の更なる向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■加東市市政出前講座の実施及び「下水道の日」に合わせた啓発活動の継続</li> <li>■下水道の仕組みや正しい使用方法について、市広報紙及びホームページ等を媒体とした情報発信の実施</li> </ul>			
	下水道産業の活性化・多様化	下水熱の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■下水熱利用による地球温暖化対策の推進及び下水道産業の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■先進事業者の動向を踏まえ、導入の可能性を検討</li> </ul>		
<b>2. リスクの抑制</b>						
非常時（大規模地震・豪雨等）の危機管理の確立	浸水対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>■個別の対策と整備方針、整備目標による浸水被害の軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地区住民との協働による排水路の管理を継続して実施</li> <li>■開発事業者に対して、排水路整備の指導を継続して実施</li> <li>■雨水整備計画に基づいて、下水道計画区域の既設水路等の活用を中心とする整備の推進</li> <li>■安取雨水ポンプ場の2019（平成31）年3月供用開始後の浸水被害の軽減</li> </ul>			
	災害・事故対策の体制整備（予防及び応急復旧対策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■緊急時を想定した応急復旧の運用体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害時に備えた集中監視システムの分散化を推進</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■下水道業務継続計画（下水道BCP）の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■直近の実情に沿った下水道業務継続計画に見直すため、地域防災計画に基づく職員行動マニュアルの見直しを含めて、緊急時における自治体や民間事業者からの受援体制を盛り込む</li> </ul>			



## 4. 計画の点検・進捗管理

「加東市下水道ビジョン（2019（平成31）年度～2028（平成40）年度）」で掲げた目標や取組みについては、加東市水道事業及び下水道事業運営審議会において、その達成状況を継続的に検証し、必要に応じて、新たな定量的な目標の設定、施策自体の見直し等を行うなど、PDCAサイクルを着実に回し、ビジョンの実現を図っていきます。

また、計画の見直しは、加東市下水道事業経営戦略のアクションプラン（行動計画）の見直しと併せて、5年を目安に行います。



【計画の進捗管理のイメージ】



加東市下水道ビジョン（概要版）  
2019（平成31）年度～2028（平成40）年度

【発行】 加東市上下水道部  
2019（平成31）年3月  
〒673-1493 加東市社50番地  
TEL：0795-43-0533（直通）  
URL：<http://www.city.kato.lg.jp/>

